

東北関東大地震 石川民医連支援ニュース

No.3 2011年3月16日

石川民医連事務局 TEL 076-253-1458

支援2日目 松島へ

釜石市にある坂総合病院を基点に古田先生・武島看護師は松島海岸診療所から避難所へ訪問。武島看護師からの情報です。「松島は海水とヘドロの臭いで浅野川の時のみたいです。建物の崩壊は見えない。遺体が流れ着いてる所より離れているけれど、もう少し先は地獄だとか。夜は病院横のクリニックに寝袋で宿泊。電気来ず、かなり寒い。タベも今夜も明け方まで数10分おきに救急車搬入。心マッサージしながら搬入、すぐにトリアージされ迅速な対応。地震は軽い揺れが頻回」坂口さん、丸山さんは坂病院入口でトリアージと安否確認の対応。古田先生は今日、坂病院の当直を行う予定。



やすらぎでは業者に訴え

やすらぎは被災した宮城民医連の高齢者福祉施設「宮城野の里」からのSOSに応え業者に物資のカンパのお願いをしたところ、坂田亀巢堂さんから段ボール20箱以上のおむつやペーパータオルなど、日本海綿業さんからは毛布200枚のカンパが寄せられました。救援物資の運転も職員のお兄さんが引き受けてくれることに！「宮城野の里」は仙台にありますが避難所として定員の数倍の高齢者を引き受けています。救援物資は山形の「とかみ共生苑」(民医連でない)が中継し届けてくれます。

城北診療所に福島から被災者

福島から金沢の知人を頼って避難してきた方は保険証やお金もなく着の身着のままです。今後の不安を訴えられていました。今後、被災者の受け入れは全国規模になると思われます。自治体の柔軟な対応が求められます。

二次隊・三次隊募集

古田先生ら一次隊は19日までで、二次は19日～26日、三次は26日～4月2日の予定です。医師1名、看護師1名、事務2名の予定です。やすらぎでは救援物資(電池、カセットコンロ、カセットボンベ、紙皿、紙コップ)と3/20出発の運転手を募集しています。

カンパにご協力を